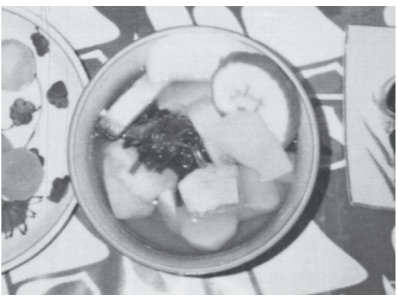


長崎の空はみずいろ

吉野 寛

本会の「水曜懇話会」に初めて出席し「私は昭和四年生まれで、母は船津町の薬屋の娘ですが、事情があつて私は父無し子なのです」と、皆様にお近づきになりたいとの気持ちから氏素性を飾らず申し上げました。その時越中先生が壁の大きな本棚から古文書を取り出され、あれこれ探されて分厚い本の中ほどの頁で「これがお宅だったのでしょうか。」と見せて下さったのは「長崎市地番入分割図」という大正八年の本でした。「船津町に二軒だけ吉野家の名前が出ていて、その一軒です。大きな薬局だったのですね。」と言われ、また別の一冊には薬剤師の名簿に「岩谷曾根次郎」という祖父の名が大きく載っているのを見つけて下さいました。私はこの岩谷家の初孫で大変幸せに育ったのですが、生立ちには少し暗い部分もあつたので、先生には自分の身元をきちんと明かしてご承認頂いたような気がしました。先生の博学には流石と感嘆し、それに不躰な私の挨拶も柔らかいおくるみで包んで頂いたような温かさで、大変有難いことでした。この時私は、通り一遍の名刺を差し上げての挨拶などしなくてよかつたと思ひました。

先程申しました、私の「少し暗い部分」というのは戸籍上のことなのです。私が幼かつた頃、母は「女子商業」の英語の先生をしていて昼間は家にいませんでしたが、その分、叔母や祖母が可愛がつてくれました。「新興善小学校」に入つて通信簿を貰うと保護者の名が岩谷由紀で、私がなぜ吉野姓なのか不審でした。級友に訊かれて困りました。母が「吉野の家を継ぐためよ」と言いますが、吉野家がどこにあるのか母の説明は何もありませんでした。瓊浦中学の四年で海軍経理学校受験のために取り寄せた戸籍謄本で初めて私は同じ姓の父、吉野朗の庶子で本籍が本紙屋町と知りました。海経は身長不足で落ち、旧制の熊本の高等学校の文科に進みましたが、すぐに戦争も終り、何とか東京の大学も出て放送局



我が家(筆者)の長崎雑煮

が出来、この二十年、むかし船津町で食べた故郷の味を楽しんできました。その一つは長崎雑煮です。長崎雑煮には八頭、銀杏、慈姑、水菜、蒲鉾、鱈、鶏などが入ります。夫婦二人なので、松の内の間、好きなだけ食べることも出来ます。これが飽きないのです。

幸い、長崎で「岳南住宅」の建築士、西津さんを知り、何とか土地を見つけ家を建てて貰いました。不思議なことに、新しい住まいは八幡町。松江の父の町と同じです。しかも八幡町の旧町名が私の本籍の本紙屋町と分かりました。三年間で二十回も東京、長崎を往復しました。西津さんとの打合せだけではなく、早坂の「ひこばえ」というホームで暮らす母と会うためです。母は百歳を超えていました。亡くなる少し前、「ヒロシには淋しい思いをさせてごめんね」と言いました。謝ることはありません。自由に恋愛をして、親戚じゅうで世間知らずのわがまま姫と揶揄された母ですが、幼い私に「オールドケンタッキーホーム」の曲を教え、駅の二階でバナナアイスクリームを食べさせ、中学の入学祝が「牧水歌集」で、正月には長崎雑煮、そのほか色々、色々、思い出す程に嬉し楽しく、私にはこよなく優しい母でした。

家内も、私を育てた母を心から愛し、一緒に暮らすことを希つていましたが、間に合いませんでした。

そしていま、ちよつと残念なのは長崎雑煮の材料の八頭が手に入りにくいことです。食べ手の私より作り手の家内ががっかりしています。本場の長崎なのにと。

でも「まあ、いいよね、長崎は空気がきれいだもんね、空が澄んでるもんね。」と二人で慰め合っています。

長崎の空のみずいろが私は大好きです。越中先生、有難うございました。(元NHKプロデューサー)

風信

○一月三十一日は旧暦の一月一日(元旦)、二月三日は節分、翌四日は梅の花さく立春とあります。古文書には「立春とは名のみ候」とありました。朝夕は、まだ寒いからであります。

(NHK)に勤め、東京暮らしの何年か経つたある日、私の父・吉野朗が松江市で医院を開いていて市会議員に立候補したことを知りました。それからまた何年かして、東京オリンピックの翌年の秋、私は父に会っておかねば、と思い立ち休暇を利用して寝台急行「出雲」に乗り、翌朝、松江に着きました。公衆電話のボックスで電話帳を開き「吉野朗」を探しました。ありました。タクシーで、その住所、八幡町へ行きました。竹林の向こうに家が見えます。

直接門を叩く勇気がなく、角の雑貨屋で電話を借りました。女の人が出て「朗は主人ですが昨年亡くなつております。あなたはどちら様ですか。」やさしい声でした。「私は、私も、吉野と申します。」

電話が切れると店の老夫婦が腰をかがめて言います。「失礼ですが長崎の坊ちゃまでしょうか。」「はい」と答えると老夫婦はぼろぼろ涙を流し「先生が生きておられたらどんなにお喜びだったことでしょうか。いつも長崎の坊ちゃまを案じておられました。」と話しました。ほどなく「ヒロシさんはどちらでしょうか。」電話の婦人の声がして小走りに店に入ってきました。案内されて暫くお宅にお邪魔して話を伺い、裏手の迎接寺のお墓にお参りしました。その夜、私は異母弟妹が四人もいる家に泊めて頂く気にはなれず、美保関に宿をとりました。夜中に自分の大きな泣き声で目を覚ましました。

雑貨屋のお爺さんが「いつも長崎の…」と言われた事が強く私の胸を打ちました。以後、私は事ある毎に「長崎」を思うようになりました。初めて見た写真の父が、夢で母に寄添うのが見えたりするのです。百貨店が催す物産展で、長崎の濃紺と朱の彩りが鮮やかな「ハタ」や「コマ」を買ってきました。茶の間でコマを回すとツンビが床を抉りますが家内は大目に見てくれます。

私はNHKを早期退職しフリーとなり、家内と一緒に夕食を摂ること

○立春の前は大寒で、寒修行がありコンカイがありました。今年もコンカイはなかつたようです。然し、近年の長崎では中国の元宵祭にあやかつて、旧元旦より旧一月十五日までをランタン・フェスティバルとして大いに賑わっているのは楽しいですね。

○節分の夜は、家中の明りを消して豆まき、それを済ませて御膳につき、鬼の手こぼし(赤大根)、尺八イカ、金ガシラ、鯨の百ヒロを昔は食べました。

○ながさき経済新年号(長崎経済研究所刊)によると「消費税上げによる県内経済調査」として次のように記してあった。

県内の景気への影響は「どちらかと言えばマイナス回答が全国を上回る三・二%」と記し、非製造業では製造業を上回るとあり、其の対策として「これから考える四割」今より節約する七割「それでは「節約しよう」と思う物の順位は」との問に対して 外食費五八・六% 衣料・雑貨等五五・九% 日常の食事四九% 旅行・レジャー四一・二% 生活必需品三七%…

○最後に大手シンクタンクによる経済成長率予測は次のように記してあった。実質〇・八%。名目二・一%。景気の下押しが予想されるが、後半は経済対策の効果や輸出環境の改善などを背景として緩やかに成長軌道に戻していくとの見方が大勢を示している。

○二月は寒いので、恒例により本会の各種講座は「冬休み」と致しておりますが、事務所は毎週月・水・金の朝十時より午後三時まで開所致しておりますので、御自由にお立ち寄り下さい。

○二月七日平成二十五年特集「ながさきの空」第二十五集発刊。前回同様、各氏の論考と巻末の古文書資料には明治初期宮内省大膳職八代石井治兵衛手控「料理肝要集」を集録した。御希望の方は事務局まで(無料)

○二月二十日午後二時半より(於長崎グラバービル)長崎日本ポルトガル協会新年度総会あり、新会員・新役員名の発表・記念講演会等がある。

○今月ご寄贈いただいた資料(参考)にされた方は事務局まで) NBC長崎放送局より平成元年より同二十五年迄の「長崎くんち奉納踊」DVD二十五本。貴重な資料でした。 平川波声氏より自作の「ノスタルジア軍艦島」CD。端島の面影を深く偲ばせる曲でした。 新名規明氏より「ガランス21」を戴く。同誌に新名氏の論考「芥川龍之介の長崎」あり。色々教えてくださいられるものがありません。

長崎歴史文化協会 研究室

TEL 八二二一五四〇
十八銀行公会堂前出張所 二F

